

◎九州総合通信局長表彰

電波の日表彰受賞者（1個人・1団体）

田中 八洲治 様

長年にわたり長崎県電波適正利用推進員協議会の会長として同協議会を牽引されるとともに、地元での電波教室の開催や電波適正利用に係る周知啓発活動に積極的に取り組むなど、地域の適正な電波利用環境の保護に多大な貢献をされました。

株式会社JVCケンウッド 様

（代表：代表取締役 江口 祥一郎）

400MHz帯デジタル簡易無線局の帯域拡張及び高度化のあり方に関する調査検討会において各種試験や検討の取りまとめを行い、周波数逼迫対策及び中継動作の利用に関する技術的条件を策定し、電波技術の普及と発展に多大な貢献をされました。

情報通信月間表彰受賞者（1個人・3団体）

升屋 正人 様

（国立大学法人鹿児島大学情報基盤統括センター 教授）

長年にわたり地域情報化アドバイザーとして、条件不利地域における光ファイバ整備に貢献するなど、自治体の地域情報化の推進と人材育成に多大な貢献をされました。

国立研究開発法人情報通信研究機構

ユニバーサルコミュニケーション研究所、広報部 様

（代表：研究所長 内元 清貴、部長 越後 和徳）

くまモンを起用したポスターを制作し、熊本県内関係団体と協力して多言語音声翻訳技術の九州管内での周知と普及に尽力され、海外からの来訪者等が暮らしやすく観光を満喫できる言葉の壁のない社会の実現に向けて多大な貢献をされました。

株式会社宮崎放送 様

（代表：代表取締役社長 松方 健二）

放送コンテンツの海外展開事業に積極的に取り組み、地域の観光情報や物産情報の発信を通じて、インバウンドの観光促進や地域産業の海外展開に多大な貢献をされました。

宮崎県企業・警察サイバーセキュリティ連携協議会 様

(代表：会長 松方 健二)

宮崎県内企業等のサイバーセキュリティ向上に向けた各種支援やインターネット利用者に対する広報啓発活動を行うなど、サイバー犯罪被害の未然防止及び拡大防止を図り、安心安全なサイバー空間の発展に多大な貢献をされました。

「情報通信の安心安全な利用のための標語」九州総合通信局長賞(学校部門)

阿久根市立阿久根小学校 様

(代表：校長 中村 一成)

標語『語ろうか ネットの人より その場の人と』

「情報通信の安心安全な利用のための標語」の公募において、安心安全な利用に関わる顕著な活動をされるとともに優秀な作品を創作され、学校における児童生徒の安心安全と情報通信の健全な発展に多大な貢献をされました。

◎九州電波協力会長表彰

表彰受賞者(1個人)

中原 孝洋 様

(独立行政法人国立病院機構京都医療センター医療情報部長、公立大学法人九州歯科大学 特任教授)

「九州地域の医療機関における電波利用推進協議会」の座長代理として先導的な役割を果たすと同時に、院内の次世代PHSの本格導入に先駆けて取り組み、医療機関における安心・安全な電波利用環境の普及促進に多大な貢献をされました。